

豊かな心

北進小中学校道徳推進通信 NO 2

2023・8・25

教務部 井本

■本校の道徳教育

本校では道徳教育の小中共通の重点目標を「『友情・信頼』友達とお互いに協力して助け合うこと」とし、年間指導計画に基づき、自立心や自律性、他者を思いやる心、規範意識、自然を大切にし、生命を尊重することなどについて、学年や発達年齢等に応じながら、学校教育活動の様々な場面を捉えて学習活動を進めています。その中で、今回は、前日行われた全校道徳における子供たちの学びの様子についてお知らせしたいと思います。

★全校道徳：命の学習・郷土の学習～「キウス周堤墓群」について

8月24日（木）に、2021年に世界文化遺産に登録された「キウス周堤墓群」をテーマに全校道徳を行いました。この学習では、まずは、生命の尊さを知ることがをねらいとし、主に以下の2点について理解することに重点を置いて学習を進めました。

- ・世界中の人たちの宝物とされる貴重な文化財が、私たちが住む千歳市にあるということについて知ること
- ・「キウス周堤墓群」とは、「お墓」であり、縄文時代という大昔に作られたものであることを知ること

「キウス周堤墓群」の画像を見ただけでは「お墓」であることが分かりにくかったり、説明に使用される言葉が聞き慣れないものであったりするため、学習を進めるに当たっては、紙芝居による解説やイラスト、写真などを用いた説明を行い、学習のまとめとしてクイズ形式による振り返りを行いました。

★実感を伴う学びにつなげるために

今年度は、埋蔵文化財センターから講師の方をお招きし、埋蔵文化財センターについて、縄文時代の生活について、キウス周堤墓群についてのお話を詳しく聞ける場面を設けました。

キウス周堤墓群が作られた、約3200年前は今よりも寒い時代でたくさんの方が亡くなり、この地域の人たちで協力して周堤墓をつくり、弔ったというお話を聞きました。授業の終わりには縄文時代の道具に触れる時間を持ちました。土器のかけらや石器に触れたり、持ち上げたり目を輝かせながら学ぶ児童生徒の姿がありました。

中学1、2年生と小学5年生は9月19日に地域防災学習でキウス周堤墓群の見学をしてるので、さらに学びを深めてきてほしいと思います。

